

#12 デジタル家電

Yutaka Yasuda, / 2004 spring term

コピー・ワンス

- 2004.4.5 から BS/地上デジタルはダビング不可に
 - 元データを削除したムーブのみ可
 - iVDR はデバイスごと移動することで対応
- 対応テレビは B-CAS カードを挿入する BCAS 画像資料
 - 録画機能つき PC で録画ができない状態に
- なぜ急ぐのか？なぜこれほど厳しいのか？

Copy once 画像資料

デジタル家電

- プロセッサを持ち、デジタルデータを扱う家電商品
 - 携帯電話、デジタルカメラ、DVDプレイヤー、ハードディスクビデオレコーダー、カーナビ etc.
- 現在の日本の家電業界を牽引

デジタル家電

- PC の不振
- 家電 4 品目の年間生産金額が2003年4月にPC生産額を上回る
 - 携帯電話も2002.12 にPCを上回っている
- 日本と米国の半導体売上高順位が年間ベースで逆転（統計調査開始以来初）
 - デジタル家電の部品生産が国内で

デジタル家電

- 世界的なデジタル家電への傾倒
- 台湾
 - PC の製造は既に中国へ
 - COMPUTEX でも家電品が
- 米国
 - COMDEX は中止し CES へ注力
- 日本が国際的優位に立てる期間は？
 - 開発期間の圧縮・世界同時発売などの方策

デジタル家電の相互接続

- 家庭内でのデジタル家電の普及
- 相互接続してデータを交換する生活
- 不法なデータの流通からコンテンツ権利者の利益をどう保護するか

galileo 画像資料

さまざまな対応

- デジタルTV受信機のB-CASカード
 - 暗号鍵
- コピー・ワンス
 - 一度の録画は認めるが、そこからのダビング（複製）を認めない
 - ただし移動は認める（元データを削除する）HDVR 画像資料
- iVDRとはどのようなものか？
 - メディアを機器から切り離すことでコピー・ワンスの問題を回避

三者の関係

- デジタルコンテンツを挟む三者
 - コンテンツ提供者：利益を多く得たい
 - 機器メーカー：利用機会を増やしたい
 - 利用者：制約を受けたくない
- 三者の調整を従来から法律・業界規制などでおこなってきた
 - 著作権法とはまさにそのためのもの
- デジタル家電は家電業界にとって非常に重要

音楽業界

- データ配信で痛手
 - Napstarなどに代表される無料の音楽配信サービスに先手を取られる
 - 最も重要な文化の醸成につまづき
 - 訴訟と法規制による後ろ向きへの対応に追われる
- iTunes Music Storeの成功
 - 低価格（99セント/曲）
 - 比較的緩やかな規制（CDへ焼ける）
 - ネットワークの利用（自宅の音楽を聞ける）
 - 10ヶ月で5000万曲を販売

映像業界

- SONY 出井
 - 「重要なことはコンテンツで収益をきちんとあげられることだ」SONY 画像資料
- SHARP Galileo
 - 映像配信事業サービスgalileo 画像資料
- Roy Salter
 - 「旧来のメディアから新しいメディアへと売上高の再分配をしているに過ぎない」

デジタル家電をはさんで

- 日本
 - 日本はPC製造では利益をほとんど得られない
 - 家電は日本が利益を得られる分野である
- 米国
 - 米国のPC業界は家電分野に踏み込みたい
- 中国
 - 世界最安値・最大の生産拠点となりつつある
 - その市場規模を武器に独自企画を作って展開
- 何とかしてデジタル家電を国際標準規格に沿い、コンテンツ提供者に国際的に認められる形で立ち上げたい